

2013-01-07

ふじさわ・九条の会ニュース

NO31



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

hp:http://www.geocities.jp/fujisawa_9jo/

meil:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp (ニュース担当)

— 昨年の中議院選挙の結果、改憲勢力議席を伸ばす — 今こそ、護憲の『巾広い国民的共同』を !!

昨年12月に行われた衆議院選挙の結果は、憲法9条改悪を掲げる自民党が議席を伸ばし、自公325+維新54=379議席で、衆議院では、改憲勢力が2/3以上の議席を占めました。現在、参議院では、野党が多数を占めていますので、すぐには憲法改正が発議できませんが、夏の参議院選挙でも改憲勢力が議席を伸ばすようなことにでもなれば、一気に改憲に向かいかねない情勢です。

**得票数を減らしながら
大量の議席を取る小選挙区制の「怪」**
今回、自民党は大量の議席を占めましたが、前回の選挙に比べ得票数を減らしており、又得票率も小選挙区24%、比例区でも21%に過ぎません。自民党の掲げる「国防軍の設置」、「集団的自衛権の行使」が国民多数の支持がえられた訳ではありません。小選挙区制度によって、得票を減らしても沢山の議席を得るといって、正に小選挙区制が国民の民意を正しく反映しないという悪い側面が露呈した選挙結果と言えます。

ふじさわ・九条の会の選挙の取組
今回の衆議院選挙にあたり「ふじさわ・九条の会」では、選挙前に会員の皆さんにアピールを郵送し、自民党の危険な憲法改悪公約に反対し、憲法9条を守る政党、議員を国会に送ろう、と訴えました。また、各党の政策を比較したチラシも作り、サンパール広場で配布しました。しかし、選挙結果は、憲法改悪反対を掲げる社

民と、共産党、未来の党などは議席を伸ばすことができず、又民主党は選挙前の議席230を大幅に減らし57議席と激減しました。

今回の選挙結果をもたらした要因
今回の選挙結果をもたらした要因は何だったのでしょうか。
第1に、民主党の責任です。前回の選挙での国民生活防衛のマニフェストを、ことごとく破り、国民の期待を裏切ったことです。
第2に、その結果、民主党には愛想を尽かした、しかし自民党にも入れたくないという有権者がふえ、投票率が下がり、1000万人もの人が投票に行かなかったためです。
第3は、改憲勢力が、連合だ、統一だとマスコミを賑わしていたのに対し、護憲勢力が何ら一緒にたたかう共闘の動きを見せなかったことです。

**国民多数は、憲法9条改悪に反対、
護憲の『巾広い国民的共同』を**
選挙後の毎日新聞が実施した世論調査では、依然52%の人が憲法9条改悪に反対であり、賛成36%を大きく上回っています。しかし、こうした国民の声が議席に反映されておられません。このままでは、改憲勢力に多数をしめられてしまいます。非民主的な小選挙区制度の下で勝つためには、護憲勢力の共闘が不可欠です。今年の参議院選挙に向け、護憲の為の巾広的国民共同が求められている情勢ではないでしょうか。
(文責 ニュース編集部 小林)

ネットを活用した市民運動

湘南大庭九条の会 大橋一夫

12月の衆議院選挙では、橋下大阪市長が選挙期間中にブログを更新し、「投票締め切り後に逮捕されるかもしれない」と自分自身でブログに書き込みました。「ネット選挙解禁」のメッセージを世の中に広く知らしめるセンセーショナルな効果を狙った動きだったと分析します。実際には逮捕されませんでしたし、選挙で大勝した安倍自民党総裁も8月の参議院選挙をめざしネット選挙解禁に動き始めたようです。

自民党のネット戦術は歴史も長く使っている予算も潤沢のように思います。先のアメリカ大統領選挙でも、オバマ陣営のネット活用技術は共和党陣営の数倍にも達していたとの報告があります。ネットだけで選挙に勝てるわけではありませんが、最近の日米の選挙結果は、ネットをうまく活用した方が勝っているのが事実です。その理由について、ネットは、新聞や放送と違い「双方向性」にあると、私は見えています。国民の声をネットを介して吸い上げ、政策に反映させれば結果的に票に結びつくと解釈します。九条の会設立理念の一つは、国民の草の根の声を結集することではないでしょうか。ネットが持つ双方向性とよくマッチしていると思います。

<湘南大庭九条の会のネット活動>

*ホームページ：会としての主張や催物予告など広報の役割を担っています。

現在、「領土問題に関する論文集」を特別開設しており、全国の九条の会の会員から寄稿していただいた論文を掲載しています。

アドレス：

<http://www6.ocn.ne.jp/~oba9jo/>

*ブログ：日々の出来事を日記風にかけています。読者からのコメントも受け付けており、双方向性を持たせています。この機能をさらに強化したいと思っています。

*メーリングリスト：Eメールを登録している会員相互の連絡に使っています。

「ふじさわ・九条の会」秋の学習会 テーマ 「原発と憲法」

講師 海渡雄一弁護士

「ふじさわ・九条の会」秋の学習会は日本弁護士連合会の前事務総長の海渡雄一弁護士から、「原発と憲法」について話していただいた。2007年に第一次安倍政権が強行採決で成立させた憲法改正手続法に基いて衆参両議院に憲法審査会が設置され、非常事態条項の導入、96条の改憲要件の緩和（両院総議員の3分の2以上の賛成による改憲発議を過半数以上にする）などが審



—講演中の海渡弁護士—

議されてきたとのこと。学習会の11月18日は野田内閣の解散前であったが、「選挙で自民党を勝たせてしまうと改憲の危険性が高まる」と話されたことがまさに的中。自民党の憲法草案の危険性（天皇の元首化や国防軍の設置、国民の権利の制限）が身近に迫ってきたように感じる選挙結果となってしまった。さらに海渡さんは日弁連が反対意見をまとめた「秘密保全法制」について解説。「国家の安全」、「外交」、「公共安全・秩序」に関する情報を、時の政権が今以上に国民に隠すことになれば市民の権利は限りなく制限され、民主主義の危機に陥る怖さを感じ得。原発訴訟では、浜岡原発の危険性を立証したにもかかわらず、敗訴したことが福島原発の大事故につながったと残念そうに話された。

脱原発基本法は103名の国会議員の賛同を得て衆議院に提出されたものの継続審議になっているので、市民の協力と賛同議員の拡がりによって次回には成立させたいと熱く話されたが、今回の選挙結果を見ると残念ながら成立は遠ざかったように見える。（島田）

<江ノ電沿線・九条の会> 旧陸軍「登戸研究所」を見学

石井洋子

江ノ電沿線九条の会でおこなった「登戸研究所」の見学に行ってきました、

そこは今は明治大学生田キャンパスのある山全体に建てられた、旧陸軍殺人兵器研究開発・実験製造の研究所で、秘密戦の証拠のような所でした。殺人兵器の発明などに功労のあった人を祀る弥心神社があり、実験動物（人間を含む）の慰霊碑。等も残っています。

私はのっけから度肝を抜かれ、不整脈も頂点に！ 中国の経済混乱を起こさせるための偽札工場や細菌を入れて飛ばす風船爆弾製造工場等の跡が残されていました。戦後四十数年も秘密厳守を貫かれてきた事実にも氷るような思いです。

私は昭和二十年生まれの引き揚げ者、それが原因で重複身体障害を負って育ちましたが、この日から殺人を実験する人、実験台になる人の姿が脳裏に浮かび、苦しくなっています。

10月27日の、 村岡地区の一斉宣伝行動に参加して

柿本まどか

10月27日、藤沢各地の九条の会の皆さんが村岡地域に集まって下さり、行った宣伝チラシのポストイン行動に初めて参加致しました。村岡地域では初めてとのことでしたが、地図を分割して2人組になって約200枚ずつ、合計1200枚まくことができました。皆さんの手際とチームワークの素晴らしいこと!!

配布が終わった後、お茶で一息つきながらの交流会では、熱い思いで活動される皆さんのお話を伺い、自分も9条を守り、平和を育てる輪を大きくしていかななくては・・・と、あらためて思いました。ましてや、先の総選挙後、改憲、国防軍をいう自民党の民意薄き圧勝!!のおかげで、私たちの平和と民主的な暮らしや教育への不安が一気に大きくなりました。今後も運動を

ますます大きく拡げていかななくてはなりませんね。



一宣伝行動の後の交流会一

< 六会・九条の会 > 「六会ふるさとまつり」パネル展示

10月20日、21日の2日間、第35回「六会ふるさとまつり」が開催され、六会・九条の会は、今回も例年通り「平和と憲法九条」「脱原発」に関するパネル展示を行いました。

今回で7回目、4つのパネルを展示しました。

- ①、九条の会についての説明、憲法審査会について、ラブ&ピース in 六会の説明
- ②、9.9 沖縄集会とオスプレイの危険性について、六会地区の線量測定結果報告
- ③、チェルノブイリの原発事故と健康問題
- ④、脱原発・市民運動の広がり、自然エネルギー問題

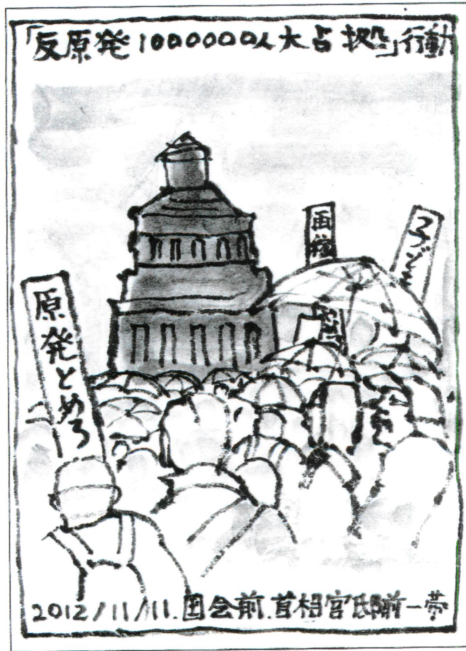
子どもも含め大勢の市民がパネルの前で立ち止まり展示に見入っていました。初日の昼過ぎ、鈴木藤沢市長も来場。六会・九条の会の説明員からパネルを見ながら説明を受けていました。



一鈴木市長も展示コーナーに立ち寄る一

11/11 脱原発集会に参加して

池田治子



昨年、1月11日脱原発の国会デモに行ってきた。寒さと降りしきる雨の中、全国から駆けつけた「脱原発」を訴える人の波は身動きでき

ないほどの状態でした。あちこちでひびきわたる必死のシュプレヒコールは、寒さも雨もものともせず日本中にひびき渡ったのではないのでしょうか。デモに集まった人々の中に子どもを負った若いママ・パパ、そして小さな小学生の子ども達もいました。「ボクたち子どもに明るい未来を!!」と大きな字でプラカードを掲げている子どもは小学校4年生で、「鎌倉から来ました」と言っていました。

国は、この大勢の人々の心からの叫びを、どれだけ受け止めてくれたのでしょうか。翌日の新聞には、この大きなデモの様子は一切報道されていませんでした。(スケッチは、矢田健爾画伯)

<湘南台九条の会>

第6回総会と学習の集い開催



11月3日、湘南台九条の会は、「第6回総会と学習の集い」を、湘南台市民センターで開催し

ました。

総会では、上野会長が1年間の活動報告を行い、その中で、毎月9の日に「9の日行動」として湘南台駅の西と東の駅前広場でチラシ配布と署名集めをやっていることが報告されました。

総会の後、湘南学習会議の大山正雄さんから「日米安保と憲法9条」についての講演があり、次いでアトラクションとして、大庭九条の会の保坂治男先生の指揮で童謡の合唱と「日中関係の一断面・赤い夕日」と題する紙芝居の上演がありました。

サンパール広場で 12/8

ふじさわ・不戦のちかい平和行動

今年も12月8日の太平洋戦争開戦の日にならんで、ふじさわ・不戦のちかい平和行動が



実施されました。参加者61人。

チラシ700セット配布。辻堂9条バンド、津軽三味線

一元気に挨拶される浮田さんー 脱原発を訴える若者達によるイマジン音頭、「月桃の花」歌舞団によるエイサーなど、歌や踊りが披露されました。沖縄からのゲストスピーチ、市民スピーチが行われ、浮田久子さんが90歳を超える高齢にもかかわらず、元気に挨拶されました。

<今後の主な日程>

<8周年記念のつどいの日程決定>

開催日程：5/19(日)藤沢市民会館小ホール
記念講演の講師は、高田健さん(九条の会事務局長)

<日程>

1月14日 12:00 藤沢駅南口
9の日行動として成人の日にちらしまき
1月28日 世話人会議 18:30
2月9日 9の日行動 11:00～
サンパール広場